

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場会社名 株式会社きもと 上場取引所 東
 コード番号 7908 URL <http://www.kimoto.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木本 和伸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 安田 茂 (TEL) 03-3350-4701
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 平成24年12月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	11,040	△0.5	1,072	33.8	969	59.1	616	114.3
24年3月期第2四半期	11,101	△9.3	801	7.4	609	△9.6	287	△1.4

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 389百万円(715.0%) 24年3月期第2四半期 47百万円(△26.3%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第2四半期	23	40	—	—
24年3月期第2四半期	10	78	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	27,529	68.4	18,819	68.4	—	—
24年3月期	27,555	67.9	18,696	67.9	—	—

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 18,819百万円 24年3月期 18,696百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
24年3月期	—	4.00	—	5.00	9.00	—
25年3月期	—	5.00	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	23,100	3.2	1,740	15.1	1,770	13.0	930	22.3	35	30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に該当しております。詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年3月期2Q	27,386,282株	24年3月期	27,386,282株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	1,310,970株	24年3月期	1,010,912株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

25年3月期2Q	26,342,554株	24年3月期2Q	26,675,403株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により予想とは異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(3) 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(ご参考)

当社は、平成24年11月20日(火)に機関投資家及び証券アナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定であります。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	P. 8
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(4) セグメント情報等	P. 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10
(6) 重要な後発事象	P. 10
4. 補足情報	P. 10
(販売の状況)	P. 10

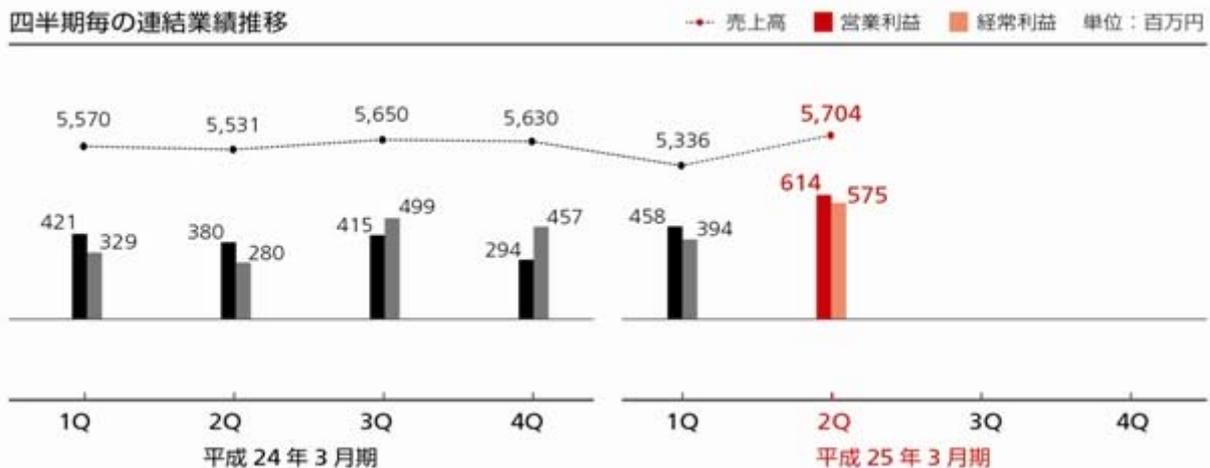
1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループは、タッチパネル用ハードコートフィルムを中心としたフラットパネルディスプレイ向け製品を戦略製品と位置付け、その開発と販売に注力してまいりました。営業面においては、エレクトロニクス製品の世界的な製造拠点である東アジア地域をターゲットとして積極的な営業を展開いたしました。また、グループを挙げた経費削減を継続し、経営効率のさらなる改善を進めています。

タッチパネル用ハードコートフィルムの販売は、スマートフォン、タブレットPCを中心に高付加価値品が堅調に推移しました。また、工程用粘着フィルムも製造業向けに堅調に推移しました。しかしながら、TV向け液晶バックライト用フィルムの販売が減少したことにより減収となりましたが、生産性の向上により増益となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は11,040百万円（前年同四半期比0.5%減）、営業利益は1,072百万円（同33.8%増）、経常利益は969百万円（同59.1%増）、四半期純利益は616百万円（同114.3%増）となりました。



セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

① 日本

タッチパネル用ハードコートフィルムの販売は、スマートフォン、タブレットPCを中心に高付加価値品が堅調に推移しました。また、工程用粘着フィルムも製造業向けに堅調に推移しました。しかしながら、TV向け液晶バックライト用フィルムの販売が減少したことにより減収となりましたが、生産性の向上により増益となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は9,808百万円（前年同四半期比0.8%減）、営業利益は954百万円（同15.0%増）となりました。

② 北米

北米工場での製造品の販売が大幅（前年同四半期比）に増加したことにより、増収増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は799百万円（前年同四半期比19.9%増）、営業利益は103百万円（前年同四半期の営業損失は38百万円）となりました。

③ 東アジア

F P D-5 製品 (Flat Panel Display 5 品目) の中では、工程用粘着フィルムの販売が減少しましたが、他の F P D-5 関連製品の販売が伸びたことで増収増益となりました。

これらの結果、当第 2 四半期連結累計期間における売上高は304百万円 (前年同四半期比2.2%増)、営業利益47百万円 (同46.1%増) となりました。

④ 欧州

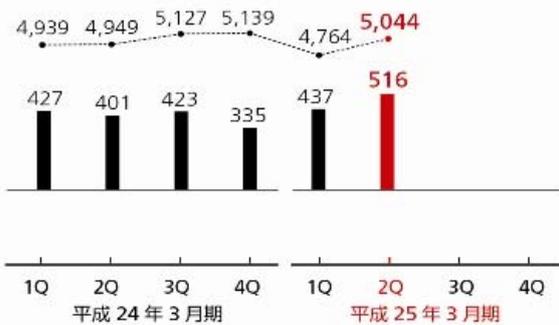
中小型インクジェットプリンターの販売及び T V 向け液晶バックライト用部材加工の受注が減少したことにより、減収となりました。

これらの結果、当第 2 四半期連結累計期間における売上高は128百万円 (前年同四半期比48.1%減)、営業損失は38百万円 (前年同四半期の営業損失は31百万円) となりました。

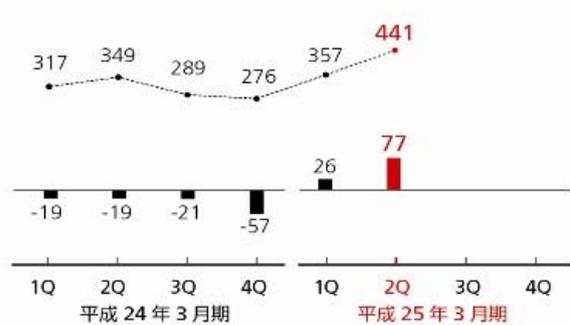
四半期毎のセグメント別業績推移

● 売上高 ■ 営業利益 単位：百万円

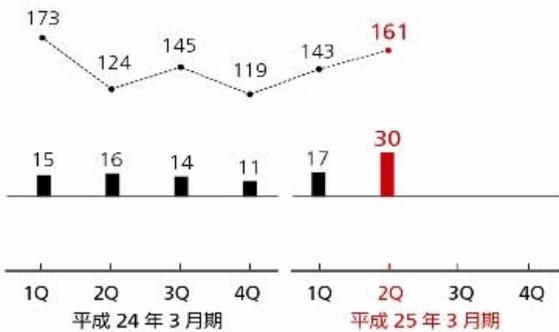
日本



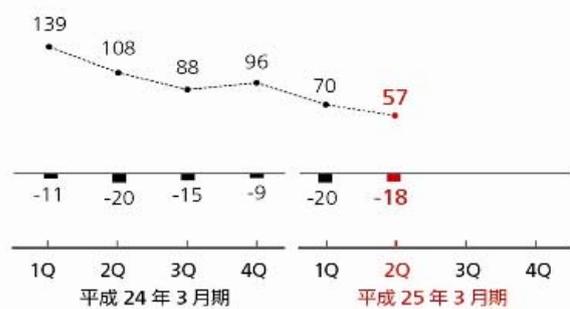
北米



東アジア



欧州



(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況は以下のとおりであります。なお、比較増減額はすべて前連結会計年度末を基準としております。

(資産)

総資産は前連結会計年度末に比べ26百万円減少し、27,529百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金の増加575百万円、仕掛品の増加293百万円、土地の減少278百万円、投資有価証券の減少635百万円であります。

(負債)

負債は前連結会計年度末に比べ149百万円減少し、8,709百万円となりました。主な変動要因は、未払法人税等の増加64百万円、流動負債その他の増加344百万円、支払手形及び買掛金の減少393百万円、長期借入金の減少178百万円であります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ122百万円増加し、18,819百万円となりました。主な変動要因は、利益剰余金の増加484百万円、自己株式の取得による減少134百万円、その他有価証券評価差額金の減少87百万円、為替換算調整勘定の減少139百万円であります。これらの結果、自己資本比率は68.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績が売上高に関しては概ね計画どおりとなりましたが、利益面に関しては予想を上回る結果となりました。しかしながら、国内・海外経済ともに依然として先行きの不透明な状況が続いており、現時点において平成24年5月10日に公表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ4百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,850	10,426
受取手形及び売掛金	6,214	6,332
商品及び製品	705	729
仕掛品	656	949
原材料及び貯蔵品	405	441
繰延税金資産	174	171
その他	152	93
貸倒引当金	△25	△52
流動資産合計	18,132	19,091
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,735	3,588
機械装置及び運搬具(純額)	1,422	1,288
土地	1,187	908
建設仮勘定	77	145
その他(純額)	222	370
有形固定資産合計	6,646	6,301
無形固定資産		
ソフトウェア	92	44
その他	43	41
無形固定資産合計	135	85
投資その他の資産		
投資有価証券	1,612	976
繰延税金資産	499	547
長期預金	300	300
その他	272	377
貸倒引当金	△44	△151
投資その他の資産合計	2,640	2,050
固定資産合計	9,422	8,437
資産合計	27,555	27,529

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,590	4,196
1年内返済予定の長期借入金	409	391
1年内償還予定の社債	62	20
未払法人税等	162	226
賞与引当金	300	350
役員賞与引当金	9	—
その他	816	1,161
流動負債合計	6,350	6,347
固定負債		
長期借入金	774	596
退職給付引当金	1,652	1,685
長期預り金	59	59
その他	21	20
固定負債合計	2,508	2,361
負債合計	8,858	8,709
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,274	3,274
資本剰余金	3,427	3,427
利益剰余金	12,843	13,328
自己株式	△471	△605
株主資本合計	19,074	19,424
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	182	95
為替換算調整勘定	△560	△700
その他の包括利益累計額合計	△377	△604
純資産合計	18,696	18,819
負債純資産合計	27,555	27,529

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	11,101	11,040
売上原価	7,951	7,493
売上総利益	3,150	3,546
販売費及び一般管理費	2,348	2,474
営業利益	801	1,072
営業外収益		
受取利息	11	14
物品売却益	25	1
その他	24	24
営業外収益合計	62	40
営業外費用		
支払利息	14	11
為替差損	237	130
その他	2	2
営業外費用合計	254	143
経常利益	609	969
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	7	—
特別利益合計	7	0
特別損失		
固定資産売却損	30	19
固定資産廃棄損	0	0
減損損失	—	106
投資有価証券評価損	58	—
特別損失合計	89	126
税金等調整前四半期純利益	527	843
法人税等	240	226
少数株主損益調整前四半期純利益	287	616
四半期純利益	287	616
少数株主損益調整前四半期純利益	287	616
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50	△87
為替換算調整勘定	△189	△139
その他の包括利益合計	△239	△226
四半期包括利益	47	389
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47	389
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	日本	北米	東アジア	欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,889	666	297	247	11,101	—	11,101
セグメント間の内部売上高 又は振替高	452	61	33	0	547	△547	—
計	10,341	728	331	248	11,649	△547	11,101
セグメント利益又は損失(△)	829	△38	32	△31	791	10	801

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、主にセグメント間取引消去7百万円、棚卸資産の調整額0百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	日本	北米	東アジア	欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,808	799	304	128	11,040	—	11,040
セグメント間の内部売上高 又は振替高	392	77	32	0	503	△503	—
計	10,200	877	337	129	11,544	△503	11,040
セグメント利益又は損失(△)	954	103	47	△38	1,066	5	1,072

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、主にセグメント間取引消去5百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、愛知県名古屋市に所有する事務所及び駐車場の土地につきまして、取得価額に対する時価の著しい下落、また、駐車場は事業の用に供することがなくなりましたので、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として、それぞれ46百万円、60百万円を特別損失として当第2四半期連結累計期間に計上いたしました。

なお、当資産グループの回収可能性は正味売却価額により測定しており、土地については適切に市場価格を反映している指標に基づき合理的に算定された価額により評価しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「日本」のセグメント利益が4百万円増加しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

(販売の状況)

事業区分	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		(参考) 前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	
	外部顧客への 売上高 (百万円)	前年同四半期 増減率 (%)	外部顧客への 売上高 (百万円)	前年同四半期 増減率 (%)	外部顧客への 売上高 (百万円)	前連結会計年度 増減率 (%)
電子・工業材料	8,408	△4.3	8,466	0.7	16,500	△6.6
グラフィックス	1,707	△14.6	1,639	△4.0	3,613	△10.5
産業メディア	890	△17.7	806	△9.4	1,890	△12.0
情報システム	95	△73.7	128	34.6	379	△59.7
合計	11,101	△9.3	11,040	△0.5	22,383	△9.7

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。